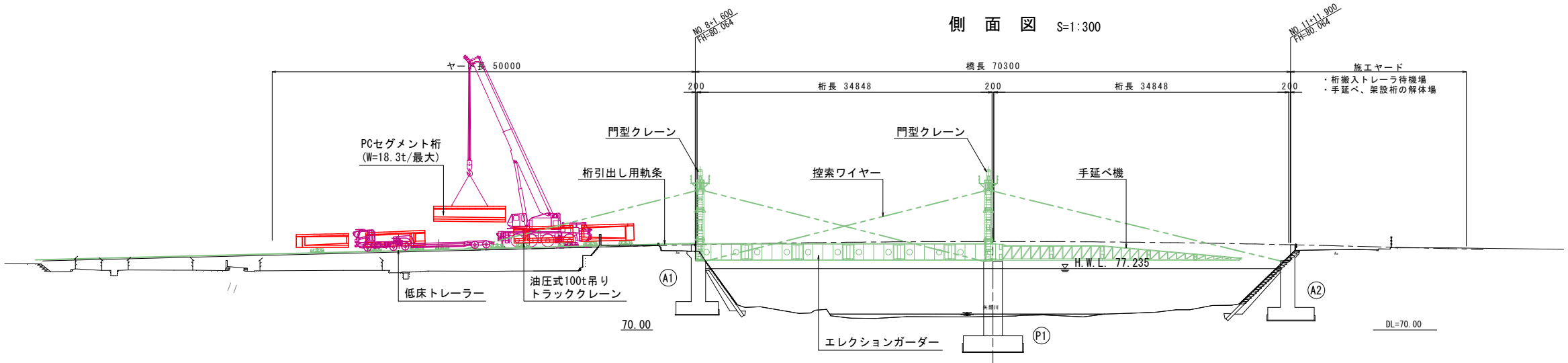


参考図

工事年度	令和 年	度起工 災害定	第 000-00000-000-00 号
工事名	県道岩野黒木線四条野橋橋梁上部工工事		
路線名	岩野黒木	地区	四条野 橋
工事箇所	八女	黒木	大字 木屋・桑原 地内
図面名	架設要領図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	全 65 葉之内 41 号
事務所名	福岡県八女県土整備事務所		
認可	当初	実	当初
可	第 回変更	施	第 回変更
			査 定

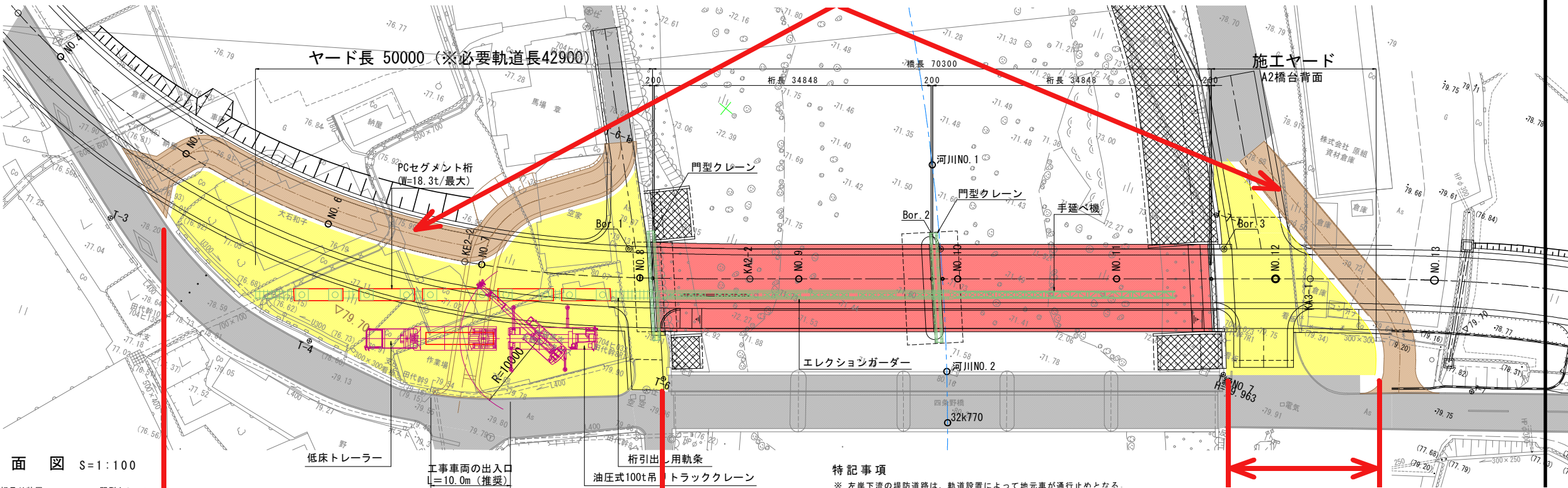
架 設 要 領 図 (参考図)



軌跡図

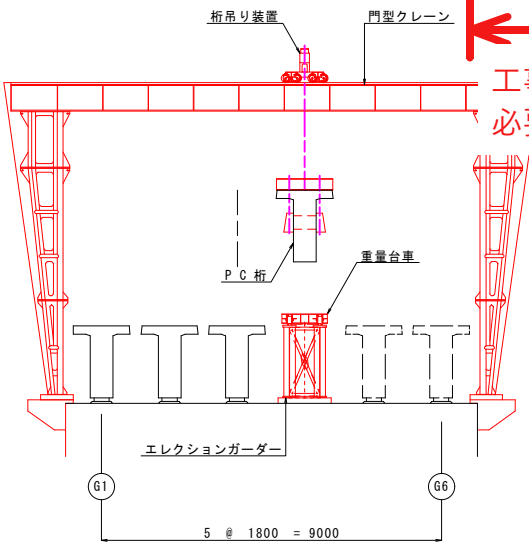
車種	小型自動車 (道路構造令)
全長	4700mm
車幅	1700mm
最小回転半径	6000mm

堤防道路の迂回路 (先発工事にて設置予定)



：施工ヤード範囲

断面図 S=1:100



工事車両の出入口は、県道と施工ヤードが接した範囲内で必要最小限の範囲を想定しております。

油圧式100t吊りトラッククレーン能力表

(単位:t)				
ブーム長 作業半径	11.88m	15.90m	20.09m	22.90m
2.8 m	100.0	—	—	—
4.0 m	70.0	50.0	—	—
5.0 m	55.2	50.0	38.0	38.0
6.0 m	45.1	45.1	38.0	38.0
7.0 m	37.8	37.8	37.8	37.8
8.0 m	32.2	32.2	32.2	32.2
9.0 m	27.8	27.8	27.8	27.8
10.0 m	—	24.5	24.5	24.5
11.0 m	—	18.4	18.4	18.4

特記事項

- ※ 左岸下流の堤防道路は、軌道設置によって地元車が通行止めとなる。このため、代替えとして新設道路に仮設迂回路を設置する。
- ※ 架設時の施工ヤード高は、現道と同じ高さまで路床盛土おを構築する。
- ※ セグメント桁の運搬は、現道から搬入し所定の位置から取搬入トレーラーの待機場所については、右岸堤防とする。別途必要な場合は、原組敷地等の検討が必要である。
- ※ 横組工、連結工、地覆施工時は、全面吊足場（朝顔付き）を設置する。

架設要領

- 工場にてPCセグメント桁 (W=18.3t/7' ロック最大) を製作する。
- A1橋台背面に油圧式45t吊りトラッククレーンを据え付け、エレクションガーダーを組み立てに設置する。
- ワイヤーブリッジ防護を設置する。
- A1、P1下部工上に門型クレーンを設置し軌条を敷設する。
- エレクションガーダー設置後、図の如くA1橋台背面の製作ヤード内に、油圧式100t吊りトラッククレーンを据え付ける。
- 工場で製作されたPCセグメント桁を低床トレーラーに載せ輸送し、トラッククレーンの作業半径内にて停止する。
- トラッククレーンにてPCセグメント桁を吊り上げ、ゆっくり旋回し重量台車に載荷しA1橋台背面に引き出す。
- 6、7を繰り返し、1桁 (57' ロック) 分を1.0m程度の間隔をとって並べ、ヤード内の軌条上で1本桁にする。
- 製作された1本桁をウィンチ等にてガーダー上に引き出し、門型クレーンにて吊り上げ、横移動し所定の位置に据え付ける。
- 6～9を繰り返し、A1-P1径間の桁架設を終了する。
- A1-P1径間の架設終了後、エレクションガーダーをA1-P1径間に移動し設置する。
- A1-P1径間の横組工完了後、主桁引き出し用軌条を桁上まで延長する。
- P1-A2径間も同様に、5～8の作業を繰り返し架設を終了する。
※ 手延べ機と架設桁本体は 架設完了後A2橋台背面まで引き戻して解体する。

工事車両の出入口は、県道と施工ヤードが接した範囲内で必要最小限の範囲を想定しております。